

Rina is fourteen years old. Her family moved to Los Angeles in August.  
引っ越(こ)した

Her new school life started in September.  
生活

At school some students talked to her, but she didn't understand their English well.  
(~を) 理解する

She wanted to be friends with them, but she could not find the words to say that in English.  
~と友達になる

She had many lonely days.  
さびしい

One day, Rina said to her mother, "I have no friends here. I want to go back to Japan."

Her mother said, "I understand your feeling. You are having a hard time now, Rina."  
気持ち つらい目にあっている

Rina said,

"Some students talk to me, but I can't find the words to speak in English.

My English is not very good. What should I do?"

Her mother said, "You don't have to speak English well.

Just try to communicate with them. You may make mistakes, but don't be afraid of that."  
意思の疎通(そつう)をする ~かもしれない まちがい ~を恐れる

Rina said, "Okay. I'll try."

The next day, when Rina was walking to school, a girl said, "Good morning," to her.

Rina said, "Good morning." The girl said, "My name is Mary.

I know you are a new student from Japan. How do you like this school?"  
know (that) ~ ~だと知っている

Rina remembered her mother's words, and tried to talk to her in English.  
(~を) 思い出した

Her English was not very good, but Mary listened to her and understood.  
understand の過去形

When they got to school, Mary said,

"You speak English well. I enjoyed talking with you."  
話すこと

Rina felt happy.

りなは14歳です。彼女の家族は8月にロサンゼルスに引っ越してきました。

りなの新しい学校生活は9月に始まりました。

学校では生徒が何人か話しかけてきましたが、りなは彼らの英語がよくわかりませんでした。

りなは彼らと友達になりたかったのですが、それを英語で言う言葉が見つけれませんでした。

りなはさびしい日々を何日も過ごしました。

ある日、りなは母親に言いました。「私はここに友達が1人もいないわ。日本に帰りたい。」

母親は言いました。「あなたの気持はわかるわ。今つらい目にあっているのね、りな。」

りなは言いました。

「何人かの生徒が私に話しかけてくるけど、私は英語で話す言葉が見つけれられないの。

私は英語があまりうまくないの。どうすべきかしら？」

母親は言いました。「あなたは英語を上手に話す必要はないのよ。

ただ彼らと意思の疎通(そつう)をしようと努めなさい。まちがえるかもしれないけれど、恐れないで。」

りなは言いました。「わかったわ。やってみる。」

その次の日、りなが学校へ歩いているとき、ある少女が「おはよう。」と彼女に言いました。

りなは「おはよう。」と言いました。少女は言いました。「私の名前はメアリーよ。

あなたが日本からの転校生だと知っているわ。この学校はどう？」

りなは母親の言葉を思い出して、英語で彼女と話そうと努めました。

りなの英語はあまりうまくありませんでしたが、メアリーは彼女の言うことを聞いて、理解しました。

2人が学校に着いたとき、メアリーが言いました。「あなたは上手に英語を話すわね。

あなたと話すのを楽しんだわ。」

りなはうれしく感じました。

Rina : Good morning, Mary. Is this your notebook?

Mary : Oh, hi, Rina. Yes, it is! Where did you find it?

Rina : In the school library. It was on a table **by** the window.  
～のそばに

Mary : Oh, yes! I went to the library **to study** science yesterday.  
勉強するために

I need this notebook for today's science class, so I was **looking for** it.  
～を探している

I'm **glad** you found it.  
〈be glad (that) 〉～ということがうれしい

Rina : I wanted **to call** you yesterday, but I didn't know your phone number.  
電話をすること

Mary : Thank you very much, Rina. I'll tell you my phone number.

**By the way**, do you like **jazz** music?  
ところで ジャズ

Rina : Yes, I do. I enjoy **playing** the piano on weekends.  
弾くこと

I love playing jazz and also **listening** to it.  
聞くこと

Mary : Really? My brother's band will have a **concert** this Saturday.  
コンサート

He plays the guitar. I have a few tickets. Can you come?

Rina : That sounds great. I'll be **free** this Saturday. **Thank you for telling me about it.**  
ひまな 〈thank you for ～ing〉～してくれてありがとう

What time will the concert start?

Mary : At three. The **hall** is near our school, so we can walk there.  
ホール

Rina : Then, **shall we** have lunch together on that day?  
(一緒に) ～しましょうか

We can go to the concert after lunch. I'll visit you before noon.

Mary : That will be great!

りな： おはよう、メアリー。これはあなたのノートかしら？

メアリー： あら、おはよう、りな。ええ、私のよ！ どこで見つけたの？

りな： 学校の図書館よ。窓のそばのテーブルの上にあったわ。

メアリー： ああ、そうだわ！ 昨日理科を勉強しに図書館に行ったのよ。

今日の理科の授業でこのノートが必要だから、探していたの。

あなたが見つけてくれてうれしいわ。

りな： 昨日あなたに電話したかったんだけど、電話番号を知らなかったのよ。

メアリー： 本当にありがとう、りな。電話番号を教えるわね。

ところで、あなたはジャズ音楽が好き？

りな： ええ、好きよ。週末にはピアノを弾くのを楽しんでいるわ。

ジャズは演奏するのも聞くのも大好きよ。

メアリー： 本当？ 私の兄のバンドが今度の土曜日にコンサートを開くの。

兄はギターを弾くのよ。チケットを数枚持っているの。あなたは来られる？

りな： とても楽しそうね。今度の土曜日はひまだわ。教えてくれてありがとう。

コンサートは何時に始まるの？

メアリー： 3時よ。ホールは学校の近くだから、歩いて行けるわ。

りな： それでは、その日は一緒に昼食を食べましょうか。

昼食の後でコンサートに行くことができるわ。正午前にあなたの家を訪ねるわね。

メアリー： それはいいわね！